

PD研修のご案内

NDIS0603 : 2005/2013附属書
「軽水型原子力発電所用機器に対する
PD資格試験」に準拠

一般財団法人発電設備技術検査協会
溶接・非破壊検査技術センター
研修センター

2013年6月6日
組織変更及びNDIS0603-2013改訂に伴い改正

1. PD 研修の種類

PD研修には次の2種類があります。

一般財団法人発電設備技術検査協会 溶接・非破壊検査技術センターはPD認証機関によって、これらの研修を行うことの認可を受けています。

1.1 更新用PD研修

NDIS0603附属書Aにより認証されたPD技術者が、更新申請までに受講が義務付けられている研修で、PD認証取得後のき裂高さ（深さ）測定に関わる技量維持の確認を目的としています。

1.2 再試験用PD研修

NDIS0603附属書AによるPD資格試験において不合格となった後、30日未満で再試験を受けようとする超音波探傷技術者（UT技術者）が、再試験申請前に受講する研修で、PD資格試験合格を目的としています。

2. PD研修内容

2.1 更新用PD研修

(1) 手順

更新用PD研修は、「技量維持確認」と「実習」の2段階で実施します。

「技量維持確認」は資格取得時の技量が維持されていることの確認を目的とし、測定結果をPD資格試験結果の評価基準で判定します。

「実習」はPD技術者の技量向上を目的とした研修で、「技量維持確認」で使用した試験体とは異なる試験体を用いて行います。

(2) 受講者の受講準備

受講者はPD認証を受けたときに使用した手順書及び超音波探傷装置を使用します。よって、受講に際して予めPD資格証明書及び手順書を提出して頂きます。

(3) 研修内容

a) 試験体数

- ・「技量維持確認」・・・5体
- ・「実習」・・・・・・・・・・5体

b) 測定時間

1日の研修時間は、装置の準備を含めて9:00から18:00までの8時間を原則とします。

標準的な研修期間を3日間とし、与えられた試験体の測定が未了の場合、及び判定基準を満足しない場合は溶接・非破壊検査技術センターとの協議により、延長も可能とします。

1つの試験体に対しては同一日内で測定して頂きます。

(4) 研修修了判定

研修修了の判定は、「技量維持確認」及び「実習」の合計10体の試験体の、き裂高さ（深さ）測定結果が、PD資格試験結果の評価基準を満足することとします。

2.2 再試験用PD研修

(1) 手順

再試験用PD研修は、「実習」と「技量確認」の2段階で実施します。

「実習」はき裂高さ（深さ）測定の実習を目的として行い、測定結果がPD資格試験結果の評価基準の範囲内の結果が得られるまで、繰り返し測定を実施して頂きます。

「技量確認」はPD資格試験と同様な方式で行い、測定結果がPD資格試験結果の評価基準を満足することを確認します。

(2) 受講者の受講準備

受講者はPD認証を受けたときに使用した手順書及び超音波探傷装置を使用します。よって、受講に際して予め手順書を提出して頂きます。

(3) 研修内容

a) 試験体数

- ・「実習」……………8体
- ・「技量確認」……………5体

b) 測定時間

1日の研修時間は、装置の準備を含めて9:00から18:00までの8時間を原則とします。

「実習」の研修期間を2日間とし、「技量確認」の研修期間を2日間の合計4日間の研修とします。

1つの試験体に対しては同一日内で測定して頂きます。

(4) 研修修了判定

研修修了の判定は、「技量確認」の試験体の、き裂高さ（深さ）測定結果が、PD資格試験結果の評価基準を満足することとします。

3. PD研修用試験体

PD研修には以下の溶接継手試験体を使用します。

(1) 試験体の材質、形状

a) 材質；オーステナイト系ステンレス鋼（SUS304及びSUS316）

b) 口径及び肉厚

| 口径 | 肉厚(mm) |
|------|--------|
| 150A | 10 |
| 350A | 25 |
| 600A | 35 |

c) 形状；管状及び瓦状試験体

(2) 付与き裂

き裂は応力腐食割れ（SCC）とします。き裂の深さが15mm以上の試験体、及びき裂先端が溶接金属内にある試験体が含まれます。

4. 測定結果の提出及び測定データの消去

更新用 PD 研修，再試験用 PD 研修共，1 個の SCC の探傷が終了する毎に測定結果を提出して頂き、探傷装置やコンピュータ内のデータを消去させていただきます。

研修終了後には、受講生の持ち込まれた機器に保存されている試験体に関する全ての電子データを消去させていただきますので、研修の受講前にソフトウェアのバックアップを用意の上、受講されることをお願いします。

5. PD 研修証明書の発行

技量が確認された各受講者には、更新用 PD 研修証明書または再試験用 PD 研修証明書を発行します。

なお、PD 技術者の実機検査での測定値，ならびに PD 資格試験再受験の可否判定は，研修受講者に帰するものとします。

6. 禁止事項

PD 研修の公平さを確保するため、研修内容及び試験体に係る情報の持ち出しを禁止します。禁止事項を確実に履行するために、以下の行為が禁止されます。

①紙類の持ち込み、持ち出し

(手順書のコピー、記録用紙、計算用紙等については、研修センターにて準備致します。)

②メモリー型計算機、録音機等の持ち込み

③手順書に記載されていない市販ソフト、参照データ等の持ち込み

④携帯電話、無線 LAN 装置等の外部との通信手段の持ち込み

⑤申請されていない取り外し可能な記憶装置の持ち込み

⑥コンピュータ内の隠しファイル、バックアップファイルの使用

上記以外の物品、及び行為についても研修講師の指示に従って頂きます。

倫理に反したことが明らかとなった受講者に対しては、少なくとも1年間は受講申請を受け付けません。又、受講者が試験体の情報を漏洩させたことが明らかになった場合は、該当分の試験体製作費用を請求させていただきます。

7. 研修会場案内

7.1 研修会場

研修は一般財団法人 発電設備技術検査協会 溶接・非破壊検査技術センターで実施します。

住 所；〒230-0044 横浜市鶴見区弁天町14-1

案内図HP； <http://www.japeic.or.jp/g-shoukai/jimusho/tsurumi.htm>

7.2 ユーティリティ

研修会場では次のユーティリティが使用できます。特殊なものは受講者をご用意願います。

電源：100V 50Hz、200V 50Hz

水道水、排水用シンク（貯水、排水及び加圧機材等については受講者が準備下さい）

8. 手続き

受講に必要な資格及び書類を以下に示します。

8.1 受講申請に必要な書類

- ① PD研修受講申請書, 受講票 (添付資料1)
- ② 受講誓約書 (添付資料2)
- ③ 資格証明書

JIS Z 2305のUTレベル2又はそれと同等以上の資格の証明書ならびに以下に示すいずれかの証明書 (いずれも写しで可)

- ・更新用PD研修の受講申請には, PD資格証明書
- ・再試験用PD研修の受講申請には, PD資格試験結果またはPD資格試験受験票

④ 手順書 (写し)

- ・更新用PD研修の受講申請には, PD資格証明書に記載された手順書
- ・再試験用PD研修の受講申請には, PD資格試験に使用した手順書

⑤ 受講のための要望

探傷装置を取り付けるための補助者申請等、要望がある場合は書面にて提出して下さい。

⑥ 写真

申請書及び受講票に上半身 (正面)、無帽で45mm×35mm、6ヶ月以内に撮影した写真 (裏面に氏名記入) を貼付してください。(眼鏡を使用する方は眼鏡を着用した写真)

ただし、再試験用PD研修の受講申請においてPD資格試験受験票を提出される場合は不要です (その写真で代用できます)。

8.2 申請書作成にあたっての注意事項

- (1) 申請書は所定のPD研修受講申請書を使用し、正確にご記入下さい。
- (2) 申請書に不備がある場合、修正を求めることがあります。修正に応じられない場合は受講申請を取り下げさせていただきます。
- (3) 受講者の変更は、研修開始前1週間前まで変更を受け付けます。(新たな申請書の作成をお願いいたします。)

8.3 申請書の送付先及び連絡先

申請書及び添付書類を以下の送付先まで送付してください。

〒230-0044 横浜市鶴見区弁天町14-1

(一財) 発電設備技術検査協会 溶接・非破壊検査技術センター研修センター

TEL : 045-511-1374 FAX : 045-511-2750

E-mail : academy@japeic.or.jp

9. 受講費用

受講費用は以下の通りです。

| 研修種別 | 研修期間 | 受講料 (1名当り ; 消費税含む) |
|----------|------|--------------------|
| 更新用PD研修 | 3日間 | 259,200円 |
| 再試験用PD研修 | 4日間 | 336,300円 |

注記

- ・受講料は、研修開始までにお振込ください。
- ・受講料はいかなる場合も、返金いたしません。
- ・研修期間内で技量確認が早く終了した場合も、受講料は返金いたしません。

受講料振込先

| | | | | |
|-----|--|------|---|---------|
| 銀行名 | りそな銀行 (銀行コード : 0010) 赤坂支店 (店番号 : 269) | | 番号 | 0151488 |
| 種別 | 普通 | 口座名義 | ハツデンセ ッ ビギジュツケン サキョウカイ 一般財団法人 発電設備技術検査協会 | |

全面のり付け

写真の裏面に

氏名を記入

45mm×35mm

PD 研修受講申請書

一般財団法人 発電設備技術検査協会
溶接。非破壊検査技術センター

研修センター長 殿

NDIS0603 附属書Aに準拠した PD 研修の受講を申し込みます。

| | | | |
|-------------|--|------------------------------------|-------------------------------|
| 研修種別 | <input type="checkbox"/> ; 更新用 PD 研修 (PD 認証番号 ; _____) <input type="checkbox"/> ; 再試験用 PD 研修 (不合格 PD 資格試験受験日 ; _____ 年 _____ 月 _____ 日) | | |
| 手順書番号 | | | |
| フリガナ 氏 名 | 印 | 生年月日(西暦) | 年 _____ 月 _____ 日 |
| 現住所 | 〒 _____ 都 道 府 県 | | |
| TEL/FAX | TEL ; _____ | FAX ; _____ | |
| E-Mail(任意) | | | |
| 勤務先 | | | |
| 勤務先所在地 | 〒 _____ 都 道 府 県 | | |
| TEL/FAX | TEL ; _____ | FAX ; _____ | |
| 連絡先 | <input type="checkbox"/> ; 現住所 <input type="checkbox"/> ; 勤務先 | | |
| UT資格 | 資格名 | 更新(発効)年月日(西暦) 年 _____ 月 _____ 日 | 有効期限(西暦) 年 _____ 月 _____ 日 |
| 添付書類 | 1. 受講誓約書(受講者及び補助者分を提出) 2. 資格証明書(写し) ・ UT 資格証明書 ・ PD 資格証明書 (更新用 PD 研修の場合) ・ PD 資格試験受験票または PD 資格試験結果(再試験用 PD 研修の場合) 3. 手順書(写し) 4. その他・要望事項 | | |

本受講申請書の記載内容に相違ないことを証明します。

| | | | |
|---------|---|-----|-------------------|
| 雇用責任者名 | 印 | 証明日 | 年 _____ 月 _____ 日 |
| 勤務先 | | | |
| 所属部課・役職 | | | |

受講誓約書

一般財団法人 発電設備技術検査協会
溶接・非破壊検査技術センター
研修センター長 殿

私は、PD 研修を受講するに際して、以下の事項を遵守することを誓約いたします。

1. 「PD 研修の案内」の記載事項を理解し、禁止事項を守ります。
2. 以下の事項(以下、「秘密情報」)について、使用、開示もしくは漏洩させません。
 - ・ PD 研修の過程で知り得た試験体及び試験体への付与き裂に関する情報
 - ・ セキュリティシステムに関する情報
 - ・ 研修センターが、秘密保持すべき対象として指定した情報
3. 研修実施後も、秘密情報を使用、開示もしくは漏洩させません。
4. 研修実施中は、安全上の指示に従います。
5. 試験体の取扱いは、傷つける事の無いよう十分注意します。
6. 本受講誓約書記載事項を遵守しなかった場合には、研修センターが下した処分に従います。

年 月 日

勤務先； _____

氏 名； _____ 印